

【 果 樹 】

いちご・柑橘類中心の販売。いちごについては二次腋花房が増量となり潤沢な入荷が続いていることに加え気温上昇に伴うイタみの懸念から相場を下げ荷動き重視の販売となっている。干し柿は出荷終盤となり入荷量は減少しているが売り場も縮小していることから相場は保合で続く見通し。

【 野 菜 】

総入荷数量は横ばい推移だが、白菜などの重量野菜は減少し、果菜類・葉菜類は気温高から増量に転じた。暖候期の為、需要は果菜類・葉茎菜類・豆類に移行し始めている。2月の高値反動から全般に軟調相場で3月は供給量多く相場安の見通しも4月以降は業務需要回復と春商材切替で改善に向かう見通し。

< きゅうり >

関東・東北産作成作は今後も増加が見込まれ3月中は産地混在で全体量も多い見込みから次週も相場を弱める見通し

5kg A品 1,800-1,600 円

< 大玉トマト >

西南暖地産は着色基準を下げることから一時的に全体量は増加となる見込み。小玉化している産地が多くL品以上は不足感から相場を強め、M・Sは保合見通し。

4kg AM 1,400 円

< ねぎ >

潤沢な入荷が見込まれるが荷動き鈍化から流通在庫も増加し苦しい販売から相場弱める見通し。

5kg AL 1,000-800 円

< に ら >

相場を下げてきたことで荷動きは良いが今後は品質次第の販売となる。秋冬作の最終盤の増量も見込まれる為、弱保合も様子見販売となる見通し。

100g 束 AL 北海道 70-50 円 県内・京浜 60-50 円

< 春 菊 >

切り上がりとなる生産者も多く減少が見込まれるが引続き品質を注視しながらの販売で相場は下押し。

150g FG A 北海道 90-70 円 県内・京浜 60-50 円

< しいたけ >

現状、荷を抱えながらの販売となる。気温の上昇から何とか荷を促すため相場は弱保合となる見通し。

100gPK 120-100 円